

三原市議会議員

まさとき

# とくしげ政時

# 活動報告

令和4年6月議会号(第22号)



岡田市長は教育に ICT 機器を活用する GIGA スクール構想について、就任直後の令和 2 年 9 月に行った所信表明の中で、『教育が三原市の強み』といえるように、教育委員会と連携し、しっかりと取り組んでまいります」と述べられました。しかし、本構想に対しては、国内外を問わない有識者の方々から「学力向上に資する科学的根拠が無い一方、学力向上を妨げる根拠はいくらでもある」旨の指摘がありますので、本市の現状と認識を質しました。

とくしげ政時後援会〒723-0064 三原市西宮一丁目 15 番 7 号電話番号：0848-62-5804 (ファックス兼)

読売新聞 オンライン 新規登録

ホーム > 教育・受験・就活 > 教育 > ニュース

### [スキャナー] デジタル教科書、不安抱える学校…学力向上の検証足りず・不具合対応は

2022/04/17 09:30

#### 不具合時の対応 混乱も

2024年度にデジタル教科書の本格導入を目指す国の方針に多くの学校が不安を抱えるのは、機器の不具合への対応や、学力向上への検証が不十分と感じているためだ。学習用端末の配備から1年が経過し、学校現場では様々な課題が浮かび上がっている。(教育部 佐々木侖、鯉井政紀)

1ページに5秒

#### デジタル教科書に対する学校の懸念

九州の小学校	端末の不具合への対応に授業時間が割かれる
中国地方の中学校	全クラス同時に使うと、回線速度が遅くなる
関東の小学校	紙に比べて書き込みがしにくい
東北の中学校	動画などデジタルでしか表現できないコンテンツが少なく、使うメリットが感じられない
中部の中学校	授業中に教科書ではないアプリを使われる可能性が大いにある
関西の小学校	子供の視力が低下したとの意見が家庭から複数寄せられた
関西の小学校	端末を持ち歩くことで、破損のリスクがある

図1. 学校側の懸念を伝える記事(読売新聞4月17日配信)

問1 不具合の発生状況は、どうなっているか。  
 答1 表1(次ページ)の通りであり、有償修理57件、無償修理64件、合わせて121件となっている。  
 問2 不具合発生時の対応は、どうなっているか。  
 答2 各学校に配備されている端末を活用して、授業

Information and Communication Technology の略。

用語解説

ICT (情報通信技術)



学校における現状や課題などについて質しました。

初回記事の冒頭に、「機器の不具合への対応や学力向上への検証が不十分と感じている」ことを理由に「多くの学校が不安を抱える」とありましたが、図2や図3も目に飛び込んできましたので、本市の小・中学校における現状や課題などについて質しました。

4月17日から21日にかけての読売新聞に、「デジタル教科書を問う」と題した興味深い連載(図1)がありました。それは、ICT端末が全国の小・中学校に配備されてから1年が経過したことを受けた、500校にもおよぶ小・中学校を対象に実施したアンケート結果を含むものでした。



それは、ICT端末が全国の小・中学校に配備されてから1年が経過したことを受けた、500校にもおよぶ小・中学校を対象に実施したアンケート結果を含むものでした。

問3 修理費用の負担は、どうなっているか。  
 答3 発生状況などを確認し、次の対応を取っている。  
 ↓ 市が負担  
 ↓ 通常の使用による場合  
 ↓ 事情を説明し、理解を得たうえで、保護者が負担(4件)

問4 有償修理のうちの4件が「故意あるいは重大な過失による」に該当し、保護者が費用を負担したとのことだが、各事例の概要と負担額はどうか。  
 答4 発生場所を含む概要は次の①~④、また、それぞれの費用は表2に記載した通りとなっている。

問5 児童・生徒からは、ICT端末を使用した授業に対してどのような意見や要望が上がっているか。

- ① ICT端末を投げってしまったもの
- ② ICT端末を踏んでしまったもの
- ③ 電源アダプターを犬が噛んでしまったもの
- ④ 電源アダプターを紛失してしまったもの

学校内で発生した事案

家庭内で発生した事案

↓ 事情を説明し、理解を得たうえで、保護者が負担(4件)

通常の使用による場合

↓ 市が負担

↓ 通常の使用による場合

↓ 事情を説明し、理解を得たうえで、保護者が負担(4件)

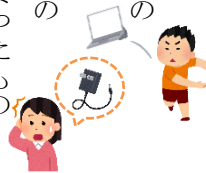


表1. ICT端末の不具合発生状況

全台数：6,932	有償修理		無償修理
	不具合種別	件数	金額
電源制御	12件	324,780円	内訳不明 (業者側に データなし)
充電機能	2件	82,940円	
キーボード	6件	113,520円	
その他	33件	1,001,600円	
計	53件	1,522,840円	64件

※ 不具合詳細(有償修理)

- 電源制御 : バッテリー交換・電源起動不可・起動不可
- 充電機能 : 充電不可・アダプター不良
- キーボード : キー不良
- その他 : 液晶割れ・スピーカー故障・カメラ故障・端末欠損  
水漏れ・タッチパネル不良・OS不良など

表2. 保護者が費用を負担した有償修理の事例の負担額

事例①	ICT端末を投げたもの	24,970円
事例②	ICT端末を踏んだもの	30,470円
事例③	電源アダプターを犬が噛んだもの	保護者直接購入
事例④	電源アダプターを紛失したもの	保護者直接購入

表3. ICT端末を利用する授業は楽しいですか

学校種別	小学校		中学校	
	実施時期	昨年10月	今年2月	昨年10月
とても楽しい	71%	70%	43%	43%
すこし楽しい	24%	24%	46%	47%
あまり楽しくない	3%	4%	8%	7%
楽しくない	2%	1%	3%	2%

表4. ICT端末を利用することで勉強がよくわかりますか

学校種別	小学校		中学校	
	実施時期	昨年10月	今年2月	昨年10月
よくわかる	58%	58%	41%	41%
すこしわかる	35%	34%	45%	47%
あまりわからない	5%	6%	11%	9%
ほとんどわからない	2%	2%	3%	3%

また、5月25日に開催された総合教育会議で配られた資料に、児童・生徒を対象に実施した「ICT端末活用状況把握のアンケート」の結果があったが、それをどう捉えているか。

表3から分かるように、いずれの時期においても、「ICT端末を利用する授業は楽しいですか」との問いに、9割程度が肯定的な回答(とても楽しい・すこし楽しい)をしている。

また、表4から分かるように、「ICT端末を利用することで勉強が良く分かりますか」との問いにも、9割程度が肯定的な回答(よくわかる・すこしわかる)をしている。

これらをクロス集計すると、全体の8割以上が肯

定的な回答をしていることになるため、ICT機器は万能ではないが、有益と考えられる。

全6、932台中、全体の約1・75%にあたる121台に不具合が発生していることが分かりました。

不具合の発生率が高くないでしょうか。出荷時の検品はどうなっているのでしょうか。こんな発生率で授業が成り立つのでしょうか。児童・生徒も教職員も混乱するだけではないでしょうか。

端末の不具合に教育現場が振り回されているのではないかと、強い懸念を抱かざるを得ません。

また、既に修理のために本市が152万円を超える費用を負担していることにも、有償修理の不具合の



問6表5からは、小学生であろうが中学生であろうが、「よくできる」と回答した児童・生徒が4割前後に過ぎないだけでなく、昨年10月と本年2月で、各回答には5%以内の差しか無いことが分かる。つまり、4か月経つても、少しでもできる子は少しかるまま、あまりできない子はあまりできないまま、ほとんどできない子はほとんどできないままと考えられる。

また、表6からは、「よくできる」と回答する児童・生徒の割合が小2から小3にかけて大幅に伸びて4割台に乗るものの、その後は伸び悩んで5割を超えていないことが分かる。

「よくできる」と答えた児童・生徒以外には、学習内

詳細を見たとき、本当に本市が費用を負担しなければならなかったのだからと、首を傾げざるを得ません。

何故、本市が費用を負担しなければならなかったのでしょうか。

さて、確かに授業が楽しいに越したことはありませんが、最優先すべきは児童・生徒が授業内容をシッカリ習得できること、つまり「よくわかる」と回答できる割合を少しでも100%に近づけることではないでしょうか。

そう考えたときに看過できないのが、次ページの表5と表6に示したタイピング(キーボードで文字を打つこと)についてのアンケート結果です。

そこで、タイピングに関するアンケート

### デジタル教科書に対する懸念

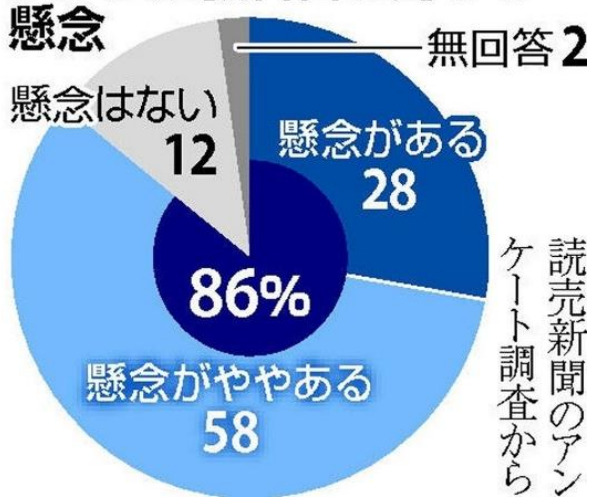


図3. デジタル教科書に対する懸念 (読売新聞 4月17日配信)

### デジタル教科書の本格導入時期について

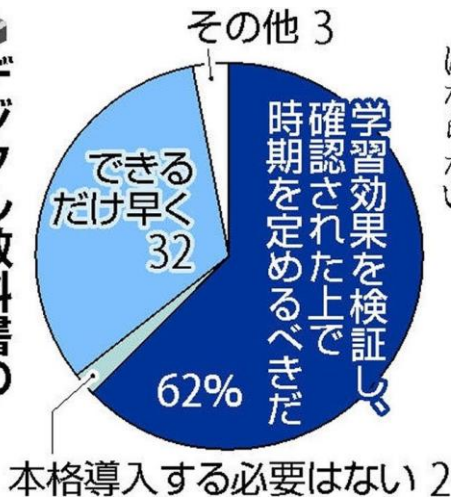


図2. デジタル教科書の本格導入時期について (読売新聞 4月17日配信)

※読売新聞のアンケート調査から。小数点以下四捨五入のため、合計が100%にならない

育現場でICT機  
冒頭でも  
触れまし  
たが、教

内容を習得する前に端末の操作という壁が立ちほか  
ついていると考えざるを得ないが、これをどう  
捉え、どう対応しているか。  
答5 小学校3年生以上の全学年で、タイピングが「よ  
くできる」「および」「すこしできる」と肯定的に答えた  
のが85%前後、「あまりできない」「および」「ほとんど  
できない」と否定的に答えたのが15%前後となつて  
いることは、小学校3年生でのローマ字の習得の積  
み残しが、それ以降の端末活用の基盤となるタイピン  
グに影響しているものと推測される。  
ローマ字は国語科  
で習得するものだ  
が、アルファベット・  
ローマ字やタイピン  
グの習得は、児童・生  
徒の段階的な成長に  
必要不可欠なため、  
ICT端末を活用  
して楽しみながらロ  
ーマ字入力でのタイ  
ピングを習得できる  
よう、今後もキーボ  
ード入力練習サイ  
トなどを各学校に紹  
介し、活用を図る。

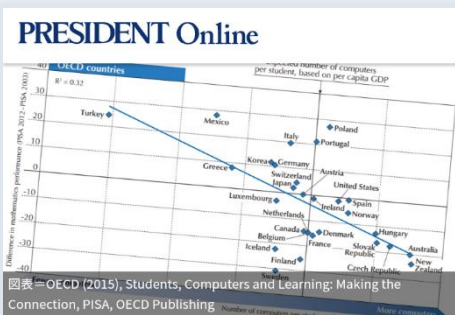
表5. キーボードで文字を打つことができますか

学校種別	実施時期	よくできる	すこしできる	あまりできない	ほとんどできない
小学生	昨年10月	37%	36%	13%	13%
	今年2月	41%	34%	13%	11%
中学生	昨年10月	42%	45%	11%	2%
	今年2月	42%	44%	11%	2%

表6. キーボードで文字を打つことができますか (上段: 回答数、下段: 回答率)

学年	よくできる	すこしできる	あまりできない	ほとんどできない
小1	180	109	76	240
	(30%)	(18%)	(13%)	(40%)
小2	198	183	129	112
	(32%)	(29%)	(21%)	(18%)
小3	283	248	95	19
	(44%)	(38%)	(15%)	(3%)
小4	285	226	66	13
	(48%)	(38%)	(11%)	(2%)
小5	300	255	70	11
	(47%)	(40%)	(11%)	(2%)
小6	287	254	64	13
	(46%)	(41%)	(10%)	(2%)
中1	213	239	53	14
	(41%)	(46%)	(10%)	(3%)
中2	229	248	64	8
	(42%)	(45%)	(12%)	(1%)
中3	199	185	52	13
	(44%)	(41%)	(12%)	(3%)

器を活用することに対しては、国内外を問わない有識者の方々から「学力向上に資する根拠が無い一方、学力向上を妨げる根拠はいくらでもある」などの指摘があります。  
海外の事例では、7年前の2015年、OECD(経済協力機構)が72の国・地域から約54万人が参加して実施した学習到達調査を根拠に、  
① ICTの教育への活用は、読解や数学、理科において成績向上に影響がない  
② ICTを授業であまり使わない国では、ICT



**社会 | 小6女子は「一人一台端末」に殺された**

**脳科学者が警告「学校の一人一台端末導入で、日本の子どもはバカになる」**

勉強にICTを使うのは逆効果

PRESIDENT Online 2021/09/25 10:00

**森下和海**  
プレジデントオンライン編集部

1 2 3 4

昨年11月、東京都町田市の小学校で、小6の女の子がいじめを苦に自殺した。いじめの温床となったのが、この学校が推進していた「一人一台端末」だった。ICT推進は文科省の方針だが、いじめだけでなく、学習にも悪影響を及ぼす恐れがある。脳科学者の川島隆太・東北大学教授は「デジタル端末で勉強すると、脳の発達に阻害される。文科省はICT推進の意義についてエビデンスを示すべきだ」と訴える。告発スクープ第5弾――。

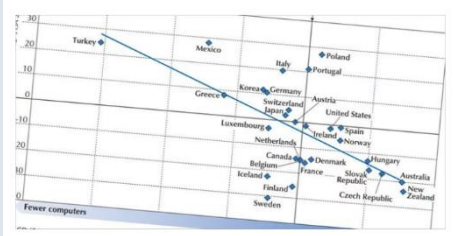


図4. ICT教育の弊害を伝える記事(プレジデント・オンラインより)

問6 国内外を問わない有識者のコメントや科学的根拠に対するお考えをお聞かせください。

と話されていますので、市長の認識を質しました。

公開されている記事(図4)の中で、「デジタル端末の使用が長くなると学力は下がることがはっきりした」「デジタル端末利用が学力を下げる理由は、脳そのものの発達を阻害しているからだと言えそうです」と

は、2019年12月の「総合経済対策」で、消費増

本文中に記したように、修理を必要とする不具合が、本市が導入したICT端末に約1・75%もの高い割合で発生していることに、驚かざるを得ません。また、なぜ本市が費用を負担しなればならなかったのか、首をかしげざるを得ない不具合もあります。

図1の記事には、「GIGAスクール構想」として、国が1人1台の学習用端末配備を打ち出したのは、2019年12月の「総合経済対策」で、消費増

編集後記

ICTを活用した教育に様々な意見があることは承知しているが、今後もこれまでの実践とICT活用とのベストミックスを図り、子どもたちの学力を伸ばしていきたいよう、教育委員会と調整を図りたい。

【答弁】1～5…木村敏男 教育部長、6…岡田吉弘 市長

- ③ 学校にコンピュータの数が多く国ほど数学の成績は下がる
  - ④ 学校でコンピュータを閲覧する時間が長いほど、読解力の成績が下がる
- と発表しています。
- 国内では、脳トレでお馴染みの脳科学者で東北大学加齢医学研究所の所長を務める川島隆太教授が、仙台市教育委員会と行った『学習意欲の科学的研究に関するプロジェクト』(2010年)での、毎年7万人を超える市立小中学校の生徒を8年間も追跡調査した結果などを根拠に、プレジデント・オンラインで

答6 OECDは発表の冒頭で、デジタル能力の格差を解消し、今日のようなグローバル社会で必要とされる能力を全生徒に提供できるように、技術をうまく取り入れた授業が学校で行われるべきとされているが、その考えに私は心から同意する。

ICTを活用した教育に様々な意見があることは承知しているが、今後これまでの実践とICT活用とのベストミックスを図り、子どもたちの学力を伸ばしていきたいよう、教育委員会と調整を図りたい。

～ とくしげ政時 後援会入会の御案内 ～

■ 後援会規約

1. この会は「とくしげ政時後援会」と称します。
2. この会は、とくしげ政時の政治活動を支援し、合わせて、会員相互の親睦と協力を促進することを目的とします。
3. この会は目的達成のため、研修会・後援会・出版物の発行などの活動を行います。
4. この会に必要な経費は、会費・寄附金などの収入によってまかないます。

■ 連絡先

電話番号 0848-62-5804 (ファックス兼)  
e-mail masa.tokushige@gmail.com

税後の経済対策の側面もあった」とあります。

川島教授は、「日本の将来にとって一番大事な教育に関してエビデンス(科学的根拠)がないままに、このような無謀な社会実験が進められているのか、疑問ではありません」ともコメントされています。

経済対策のために、児童・生徒、保護者や教職員が犠牲になっていないでしょうか。

本市は資料の中で、「全ての児童・生徒が、ICT端末の活用場面や活用方法を自ら考え、選択し、活用できる」を標榜し、市長はベストミックスを図ると仰っています。急いで事を仕損じると言います。

本市の児童・生徒の学力向上を最優先に、児童・生徒、保護者、教職員や、国内外の有識者などの声に謙虚に耳を傾け、科学的根拠に基づいた本市の教育行政に取り組みよう、今後も要求して参ります。